

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	委員名
分類1 総合事務所の体制・事業	1 (1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について 行政支所（地域センター・総合事務所）に地元の職員が少なく、地域の名称や場所を把握していない職員が見受けられることから、災害などの緊急時における対応に不安を感じている。職員の配置も含め、この課題に対する市の考えを伺いたい。	池田 章子
	2 (1) 旧合併町の予算について 旧合併町ごとに実施された地域活性化事業をはじめとした事業及びその予算について伺いたい。	浅田 真五
	3 (1) 地域センターについて 地域の実情と今後の取組みについて責任者の立場としての各地域センター所長の考えを伺いたい。	浅田 真五
分類2 農水産業の振興	4 (1) 有害鳥獣対策について 有害鳥獣の専門部署がなく相談先が不明確なため、総合事務所内に有害鳥獣対策係のような組織を設置し、相談窓口を明確化して現地の迅速な対応を図れないか市の見解を伺いたい。	大石 ふみき
	5 (1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について イノシシ等の有害鳥獣（被害で農業をやめる人もいる、個体数を減らす取り組み、捕獲・処理の補助金増など）について、伺いたい。 なお、地域の課題に対して有利な財源を活用して対処すべきではないか。	池田 章子
	6 (1) 農業センター・水産センターの今後の方向性について 農水産業とともに、従事者の減少と高齢化は旧市内より進んでいる。特に、漁業生産量は旧市内の横ばいに比べ、大きく落ち込んでいる。 両センターの役割を見直す時期と思うが見解を伺いたい。	野口 達也

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

	順序	質疑項目・要旨	
分類3 未利用財産の活用	7	(1) 未利用施設の今後について 未利用施設の現況、また除却などどのように進めていくのかについて伺いたい。	浅田 真五
	8	(1) 廃校後の跡地について 今後どのように利活用及び売却を進めていくのか伺いたい。	浅田 真五
分類4 市営住宅の耐震化対策・ 空き家対策	9	(1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について 高島地区の耐震性能が不足している市営住宅について、入居者の安全性を確保するための取組状況を伺いたい。	池田 章子
	10	(1) 空家について 特に旧合併町で目立つ老朽化し危険な空き家の対策はどのようにして対応していくのか伺いたい。	都留 かすみ
分類5 小中校区再編・ 高校通学のための交通費	11	(1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について 野母崎地区について、高校通学費が高いとの声があるが、市として補助する考えはないか伺いたい。	池田 章子
	12	(1) 小中校区再編について 長崎市は、「長崎市立小学校・中学校における規模の適正化と適正配置の基本方針」に沿って、小中学校の規模の適正化に取り組んでいるが、周辺地区においては、予想を上回る速度で人口減少や過疎化が進んでいる状況であることから、あらためて計画を見直し、10年後、20年後の児童生徒数を見据えた学校規模の再編と学校統廃合を進めてもらいたい。	平 たけし

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	
分類6 地域づくりの推進	13 (1) 地域福祉ネットワーク会議について 視察した高松市では地域コミュニティ協議会の中に、地域福祉ネットワーク会議を立ち上げ、住民主体の支え合いサービス事業をより具体的に実現してきた。今後長崎市においてもこのような事業を推進するため、地域福祉ネットワーク会議を立ち上げて行くべきと考えるが見解をお聞かせください。	永尾 春文
	14 (1) 地域コミュニティ連絡協議会、自治会などの地域団体支援について 地域行事や、自主活動に対する支援策について伺いたい。	大石 ふみき
	15 (1) 地域住民の声を市政へ反映する仕組みの再構築について 旧合併町における担い手不足や自治会加入率低下により、地域課題の把握が困難になっている。自治会と地域コミュニティ連絡協議会の実態把握及び支援強化並びに総合事務所が行っている地域からの要望の把握状況、活用実績等について問う。	梅本 けいすけ
分類7 景観対策	16 (1) 外海の石積集落景観について 景観形成重点地区である外海地区において、地域住民の生活実態に鑑み、建築物を建設・改修するうえで、景観形成基準が厳しすぎるなどにより、住民生活上、支障はでていないか。その現状と課題について伺いたい。	浅田 真五
	17 (1) サンセットロードについて 景観を損ねる樹木・草に対しての改善を考えているのか、市の見解を伺いたい。	浅田 真五

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	
18 分類8 地域公共交通対策	(1) 共助による移動手段（相乗りタクシー、公共ライドシェア、ボランティア運送）について 公共交通の減便、ハブ化に対する合併町住民の不満や不安は大きく、共助による移動手段について検討が必要と考える。高齢化が進む合併町で、市は具体的にどのように進めていこうとしているのか。	池田 章子
	(2) 公共ライドシェアへの取組について 旧町における公共交通は、人口減少に伴い年々厳しくなってきている。旧合併町の拠点となる旧役場、もしくは旧役場から最も近い旧市内の拠点への公共ライドシェアの考え方と、取組について伺いたい。	野口 達也
	(3) 公共ライドシェアの促進について 旧合併町や周辺地域においては公共ライドシェアを促進することによって、移動や買い物などの困難を少しでも改善することが可能と考える。長崎市として今後の公共ライドシェアの促進についての考え方をお聞きしたい。	柿田 正
	(4) 自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の推進について 長崎市の支線の対応策の中に、バスやタクシーで輸送が困難な場合、市町村やNPO法人などが自家用車を活用して提供するサービスとして自家用有償旅客運送を提案している。今後、例えば南部野母崎などは人口減少が進み、バスの廃止路線が増加することが予想されるが、そのような事態になった時に対応できるよう、このような事業の実現に向けて早い段階から、市より地元に相談、提案を働きかけ、協議する会を設ける必要があると考えるが見解をお聞かせください。	永尾 春文
19	(1) 今後、バス路線が減便・廃止された場合の移動手段の確保について 現状の民間事業者のバス路線については、今後も減便・廃止が考えられるが、財政が厳しい中、どのように対応しようとしているのか。	野口 達也
	(2) バス路線の減便・廃止が続いていることについて バス路線の減便・廃止が進み、遠方からの通院や買い物へ行く移動手段がない状態である。また、学生の通学時や帰宅時の部活動や塾などの時間制限負担にもなっている。こうした状況について、市の考えを伺いたい。	都留 かすみ
	(3) 路線バスの減便・廃止について 交通弱者を作らないための取り組みについて伺いたい。	大石 ふみき

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	
分類9 買い物支援 20	(1) 買い物困難者への支援について 公設市場が設置された経緯を考えると、市民の「買い物できる環境」を守ることは行政の役割と考える。 長崎市の食料品アクセス困難人口は40.9%。合併町の割合はさらに高いと考えられる。買い物困難者への支援について市はどのように進めていこうと考えているのか。	池田 章子
分類10 地域経済活性化支援 21	(1) 経済活性化支援について 合併地域において、地域に根づき商いを営んでいた商店や飲食店が軒並み閉店してしまい、経済的な地域の活気が失われつつある。閉店する原因としては売上低迷の要素もあるが、後継者不足による廃業も多く見られることから、事業承継や消費者ニーズにあった商品開発など、事業者向けの伴走支援などの周知を徹底してもらいたい。 さらに、地域おこし協力隊の公募にあたっては、地域事業の立ち上げや活性化及び任期後の起業等に備えた準備活動を隊員の活動に含めてほしい。任期の3年間を準備期間と捉えた採用に切り替えてもらいたい。	平 たけし
分類11 観光資源の活用 22	(1) スポーツツーリズムについて 旧合併町にはグラウンドや体育館など多数存在するが、それらの施設を整備し大きな大会を誘致することはできないか。 また、グラウンドの場所によって、テント、椅子などの備品が異なる。学校統廃合や児童・生徒数の減により使われていないパイプ椅子などを転用できないか。	大石 ふみき
23	(1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について 旧合併町である外海地区の世界文化遺産や野母崎地区の恐竜パークなどの観光資源をもっと活かせないか。特に外海地区は世界遺産があるのにもかかわらず、観光客が少ない。世界遺産を活かしてもっと観光客を呼び込めないか。	池田 章子
24	(1) 市中心部へ訪れた観光客を旧合併町に周遊させるための魅力発信について 兵庫県豊岡市は周辺5町と合併して現在の市域になっている。ここではDMOが中心となって、旧豊岡市等に訪れた観光客を周辺の旧合併町の観光地に周遊させるために、ホームページ上で情報発信を行い地域振興につなげる取組みがなされている。長崎市においても市内中心部に訪れた観光客を魅力ある旧合併町に周遊させるため、ホームページなどで情報発信を行い、人の流れを作ることで旧合併町の振興につながると考えるが見解をお聞きしたい。	柿田 正

旧合併町活性化対策特別委員会 総括質疑順序(案)

	順序	質疑項目・要旨	
分類12 移住・定住の取組	25	(1) 移住・定住について 移住・定住を促進するための取り組みについて伺いたい。	浅田 真五
分類13 郵便局の活用	26	(1) 郵便局機能を活かした生活インフラ維持と買い物・交通支援の一体化について 商店減少や免許返納増加に伴い、買い物・金融・行政手続・見守りなど日常生活基盤の脆弱化が進んでいる。郵便局を地域の複合拠点として活用し、民間事業者・地域コミュニティとの連携による持続可能な生活支援モデルを構築する方針を問う。	梅本 けいすけ
	27	(1) 各合併町から出された課題に対する市の対応について 地域の課題に対して有利な財源を活用して対処すべきではないか。	池田 章子
分類14 有利な財源の活用	28	(1) 旧合併地区の予算について 過疎債などの有利な財源を活用した旧合併町地域への予算拡充の考え方について伺いたい。	大石 ふみき
	29	(1) 過疎債等を活用した地域の「稼ぐ力」再生について 有利な財源により施設整備は進んだが、地域経済の持続力は弱い。一次産業・地域商業・観光の循環を生み出す地域経済再生戦略について問う。	梅本 けいすけ
	30	(1) 旧合併町の振興にかかる計画の策定について 旧合併町に係る計画は策定後20年を経た「長崎市市町村建設計画」や平成25年に策定された「長崎市地域振興計画」があります。また本年度で最終年度を迎える「長崎市過疎地域持続的発展計画」によって過疎債の活用が図られています。長崎市は今後の周辺地域の振興を、現在策定作業中の「長崎まちづくりのグランドデザイン」の中で計画するとの方針ですが、今後の合併町の振興に対しての計画として、どの様に計画を展開していく考え方をお聞きしたい。	柿田 正
分類15 合併の検証・今後の計画	31	(1) 旧合併町で実施した地域振興策について 合併町で実施した地域振興策により、住民にとってのメリットはあったのか。少子高齢化や過疎化は進み、中心部ばかりに目が向いているのではないか。	都留 かすみ
	32	(1) 合併20年の検証について 合併20年の検証を行い課題を明確にして今後に活かす考え方について伺いたい。	大石 ふみき